



ファッション分野における中核的専門人材養成産学コンソーシアム 事業成果報告会開催

2015年2月10日（火）に、本機構主催の「ファッション分野における中核的専門人材養成産学コンソーシアム」事業成果報告会をホテルグランドヒル市ヶ谷で開催した。本報告会は、産学連携における質の高い教育の推進するため、今年度ファッション分野にて取り組んだ文部科学省委託事業の成果実績を広く周知する目的をもっている。当日は、文化学園の大沼淳理事長が開会のあいさつとして、今後のファッション教育における産学連携の取組みの重要性を述べるとともに、本発表会開催にあたり各関係機関からご協力いただいたことに感謝を述べた。次に、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室室長 白鳥綱重氏からは、21世紀におけるファッション産業の在り方を見据えながらの人材育成の重要性について解説をいただき、そのためには学校だけでなく、産業界のニーズなども汲み取りながらカリキュラム開発する必要があると述べられた。また、「成長分野などにおける中核的専門人材養成の戦略的推進事業」のこれまでの経緯と、来年度における事業概要などについてもご説明いただいた。

各職域プロジェクトの発表では、一つのプロジェクトにつき20分程度を目安に今年度の事業実施内容を報告した。発表を聞いた来場者からは、これからのファッション教育における新たな教育プログラムとその活用に対して、期待をよせる声が聞かれるなど、非常に充実した内容となった。最後に、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室室長補佐 倉本光正氏よりごあいさつをいただいた。本文部科学省委託事業は全体として多くの機関（約1600機関）が参加していることが紹介され、この産学連携の成果をさらに発展させ、実りある事業になることへの期待が述べられた。

※当日は、職域プロジェクト（ファッションクリエイション）の完成作品も展示した



開会のあいさつを述べる大沼理事長



当日は約100名の来場者があった。

写真はグローバルビジネスプロジェクトの澤谷目童座長の発表

日本アセアンセンターとの共同事業が海外機関との交流へ発展

—フィリピンより 29 人のミッションが来校—

2015年2月19日(木)、日本アセアンセンターの依頼で、フィリピンより CITEM(国際貿易促進センター)とバッグ、シューズ、アクセサリーの企業関係者 29 人をお招きした。一行は、文化服装学院の歴史や留学生の状況、昨年行われた文化祭ファッションショー「ASEAN」などにつきレクチャーを受けたのち、ファッション工芸専門課程の教室を周り、卒業制作中の学生や教員と活発な質疑応答などを行い、リソースセンターでもその機能や作品見学を行った。

尚、次年度のアセアン企画の実施が決まった場合、フィリピンは共同事業の対象国となり、CITEM が学生受け入れのお手伝いをしていただける予定だ。



文化服装学院についてレクチャーを受ける視察団



卒業制作活動を見学する視察団

—ブルネイの建国記念パーティーに学生が招待—

昨年の文化祭アセアン企画で共同事業の対象となったブルネイ・ダルサラーム国は、スルタンの称号を持つ国王を元首と仰ぐイスラム教国で、石油や天然ガスが輸出のほぼ全てを占める裕福な国。

そのブルネイ・ダルサラーム国の 31 回目となる建国記念日の 2015 年 2 月 23 日(月)、ホテルニューオータニで開かれたパーティーに、アセアンシーンの企画とデザインに携わった学生たちが招待され、生地を提供いただいた会社の社長さんや、大使夫妻ともお話をさせていただくなど、貴重な経験をすることができた。



大使夫妻との歓談



歓談後記念撮影する大使夫妻と学生たち

TOPICS

次号でもアセアン諸国関連の情報を紹介

国際機関日本アセアンセンターとの共同事業として行われた、アセアン諸国への学生派遣と素材の発掘、そして文化祭でのファッションショーの開催が、今号でお知らせしたような海外機関との交流につながっている。

次号でも、日本アセアンセンター、日本繊維輸入組合、文化服装学院の三者共同主催による「アパレル対日輸出セミナー —アセアンの現状と最新情報—」の様子や、日本アセアンセンター、ラオス人民民主共和国大使館主催、トンシン・タンマヴォン首相が基調講演をされる「ラオスセミナー」の会場での、文化祭ファッションショーで披露した作品展示の様子を紹介する予定だ。